

連合山形「2016新春旗びらき」挨拶

皆さん、年が明けまして、おめでとうございます。今年もよろしくお願ひしたいと思ひます。そして、今日は、ご来賓としまして、大変お忙しいなか、吉村知事を始め、多くのご来賓の皆様より、出席を頂きました。御礼申し上げます。

さて、安倍政権が誕生して3年が経過をしましたが、日本経済は依然としてデフレから脱却できず、大都市と地方の格差は拡大する一方であり、加えて貧困問題などアベノミクスは完全に破たんしたんだらうと思ひます。

こうした状況のなかで、今年はあらゆる意味で正念場を迎える1年になるんだらうと思ひます。

(1) 一つは、働く者の賃金引上げと雇用の安定に向けた取り組みです。

安倍首相は、今年の春闘においても経済界に対し賃上げを要請しました。3年連続の賃上げ要請であり「官製春闘」（政府が介入しての春闘）と揶揄されるゆえんであらうと思ひます。しかし、この間の春闘では、大都市と地方の格差や大企業と中小企業の賃金格差など拡大する一方であり「官製春闘」の限界が明らかになっているんだらうと思ひます。

したがって、安倍首相が経済界に賃上げを要請しようがしまいが、この間実質賃金は、下がっているわけですので、積極的に賃金引上げを求めていきたいと思ひます。

連合全体としては、今春闘について「デフレからの脱却と経済の好循環」に向けて、2%要求・定期昇給含めて4%要求としています。連合山形もこのことを受け止め、特に、県内的には中小企業が多いわけですので、①中央と地方の賃金格差是正、②さらには、大企業と中小企業の賃金格差是正に向け「全体の底上げと格差是正」を課題として取り組んでいきたいと思ひます。

そのために、連合山形としては、①中小企業労組に対する支援・連携を強化しながら個別労使交渉を強めるとともに、②経営側との対話と要請行動を強め、③行政に対してはより一層の中小企業支援を求めていきたいと思ひます。

(2) 二つ目は、連合としての政策要求の取り組みについてであります。

昨日から通常国会が開会されました。①予算案を始め②軽減税率問題さらには、③安保法やTPP問題など焦点になるんだらうと思ひますが。いずれにしても、臨時給付金や農業対策費等などは参議院選挙目当ての「バラマキ」予算と言わざるを得ないんだらうと思ひます。そして、案の定・防衛費は突出して4年連続増額となっているわけであります。

我々からすれば、参議員選挙目当ての、「バラマキ」ではなくて、あくまで、国民生活や地方を大事にするための政策が重要なんだらうと思ひます。

とりわけ、①貧困問題や教育対策、②社会的なセーフティネットとしての社会保障制度や雇用対策、③さらに、地方や中小企業にスポットを当てた政策など、「持続可能な社会」に向けた政策が必要なんだらうと思ひます。

また、安倍政権は、昨年秋の通常国会で、多くの国民の反対の声を全く無視して、様々な反動法案の採決を強行しました。

労働者派遣法について強行採決されましたが、安倍政権は引き続き「残業代ゼロ」を盛り込んだ労働基準法改悪など目論んでいるわけであり、これ以上、労働法制を改悪させない運動を強化していきたいと思います。

また、安保法の問題について、多く憲法学者が憲法違反と指摘し、多くの国民が反対し、まさに、立憲主義に反するものであります。引き続き、こうした安倍政権の暴走に歯止めをかけるべく運動を強めていきたいと思います。

(2) 三つ目は、政治闘争の取り組みです。

とりわけ、7月の参議院選挙は、今ほど申し上げました、安倍政権の暴走に歯止めをかけるとともに、国民生活や地方を大事にする政治の実現に向けたたたかいです。

皆さん。政治は私たちの生活や暮らしと直結しているわけであります。たとえ、「政治に無関心であっても、決して政治と無関係にはなりえない」のが現実であります。

このことをしっかり受け止めて、比例代表について、各産別組織内・推薦候補全員の必勝に向けて連合総体の力を発揮して取り組んでいきたいと思います。

県選挙区について、連合山形としては「舟山やすえ」さんを推薦してたたかうことを決定しました。

なお、「舟山やすえ」さんは、今日は所要で少し遅れてこの会場に到着し、ご挨拶を頂きますが、民主党・社民党はもとより、広く県民の皆さんと連携して、非自民勢力を総結集して、もっと言えば、今の安倍政権では「ダメダ」という有権者の皆さんを総結集して、何としても勝利しなくてはなりません。

そして、解散もあり得る衆議院選挙や県知事選挙につなげていくことが重要なんだろうと思います。